

マイクに穴

コンデンサーマイクに穴を開けてみました。

共鳴箱の付いた音叉をたたき、このマイクを箱の中に入れてみると、箱の開口端で最大の音が検出されます。穴を開ける前のマイクを使った実験では閉口端で最大の音が検出されました。

穴を開けたコンデンサーマイクは周囲の電場の変化を受けやすく、50Hz の電源ノイズを拾ってしまいます。そこで、マイク全体を金網でシールドする必要があります。

面白いことに、穴を開けると感度は大きく低下し、その後時間が経つにしたがって感度が悪くなってゆきます。

なぜか、穴を開けてしまうとマイクの寿命が短くなってしまいます。

